

新型
コロナ

3月市議会

感染拡大防止へ大規模検査 命と暮らしを守る予算を求める 日本共産党

取手市本年度一般会計予算368億円

「コロナ危機」の下、市民の命と健康、暮らしと営業を守るための市政と議会の役割が強く求められる中、3月取手市議会では3月1日～18日まで開催。一般質問短縮、議案説明省略、委員会はオンライン開催、この1年間、感染防止を名目に議会の役割は著しく低下しています。

日本共産党は、熟議と公正・公平な議会運営を強く求めています。

給食費・介護保険料値上げ、トイレなき子どもクラブ放置

一般会計当初予算は、重点政策を桑原・西口の2大開発とし、学校給食は200円値上げ、「藤代子どもクラブ室にトイレを」との請願が2度も議会でも全会一致採択されても設置しないままになっています。介護保険料引き上げなど、子どもと市民に冷たい藤井市政を象徴しています。日本共産党は、市民を守る予算・市政の転換を求め新年度予算に反対しました。

3億8500万円交付金

速やかに現場に

第4波に入ったと言われるコロナ感染再拡大。医療のひっ迫は続き、暮らしも営業も疲弊、速やかな「臨時交付金」の予算化で、現場に届けることが求められています。

日本共産党は、医療や福祉現場と無症状者への検査拡大、命と暮らし・営業を守る事業の実施を繰り返し求めています。

国保積立30億円余、

国保税値下げ 今でしょ!!

とりすぎた国保税の結果、国保会計は毎年大幅黒字を続け「積立金」はついに30億円余。

日本共産党は、「コロナ禍」の今こそ「積立金を使って国保税引き下げを」と求めました。2億円程度で1世帯1万円引き下げられます。



取手小学校の桜 2021年3月28日撮影

3月定例市議会

各議員・会派の態度 (◎…請願紹介議員・意見書提出議員／態度…○は賛成 ×は反対)

市民・他党派議員と共同し、請願・意見書の可決に力を尽くしました。

請願・意見書の名称	議決結果	共産党				無党派クラブ		公明党				みらい				創和会							
		小池	関戸	遠山	加増	根岸	細谷	久保田	落合	染谷	齋藤	須田	関川	石井	入江	山野井	海東	鈴木	小堤	岩澤	佐藤	結城	赤羽
保育所等での消毒・清掃の必要経費や人員配置、慰労金など支援を求める請願	不採択	◎	○	○	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
公共施設休業・イベント自粛で収入が減少した事業主(個人事業主)への支援金に関する請願	不採択	○	○	◎	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	不採択	○	○	◎	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助を求める請願	不採択	◎	○	○	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
取手駅東口喫煙所における受動喫煙防止を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○
新型コロナウイルスワクチン接種に関する意見書	否決	○	○	◎	○	◎	◎	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
75歳以上の医療費窓口負担1割から2割への引き上げ撤回を求める意見書	否決	◎	◎	○	○	○	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
新型コロナウイルス感染症拡大防止へ大規模検査の実施を求める意見書(国)	否決	◎	○	◎	○	○	◎	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
新型コロナウイルス感染症の対策強化を求める意見書(県)	否決	◎	○	◎	○	○	◎	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
生活保護が必要な人が必要な時に受けられるよう制度の見直しを求める意見書	可決	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

注) 議長齋藤議員は採決に加わらず

「コロナ禍」の1年、市民が見た取手市議会



市民の苦難に寄り添う議会を望む

感染症や自然災害時こそ、議会には、多様な市民の願いを実現する仕事ととりわけ必要とされる。その時、取手市議会は、コロナ質問禁止、質問時間半減、会議での市長の議案説明省略、実質審議を行う委員会、議員が議場にいないオンライン。議会だよりの簡素化など、議会全体で市民は「蚊帳の外」と感じたのは私だけではないと思う。

オンラインが議会の熟議の妨げに…実証された市議会の1年ではなかっただろうか。

金澤 敏行 (配松)

請願者は会議室、議員はオンラインで自宅?

私は、保育現場に働くものとして、保育所でのコロナ感染防止に対する市の支援を求め取手市議会に請願しました。私の陳述は委員会室で行い、議員はオンライン参加。結果は、不採択。市民のまともな要求は不気味な多数決によって葬られてしまうのです。でも、本会議では、お二人の議員の熱烈的賛成討論に希望を感じました。これからも声を上げ続けます。

田中 義明 (井野)

「北保育所の存続を求める請願」審議を傍聴して

委員会での請願陳述は、駅に近い公立保育所の有用性を分かりやすい内容で、心に響きました。私は、委員会室で傍聴出来ましたが、多くの方は本会議場(オンライン)で分散傍聴。モニターが小さく画面がコマ割りで、どの議員の発言が分からなかったそうです。オンラインシステムは良い機能だと思いますが、議会や委員会での多用には疑問です。

ナマで直接意見を述べ合う議論にはかえられないと思います。

北保育所存続を願う市民の会 桜田 早苗

明るい取手

2021年4月号外

発行／日本共産党取手市委員会 日本共産党の見解を紹介します。

取手市井野 3-19-5 ☎ 0297-72-7816

info@toride-jcp.com

募金のご協力をお願いします。

取手JCP

検索

6.5ha土地区画整理

総事業費 199 億円？



スタートして 28 年、取手駅北土地区画整理事業は最終段階に。現在暫定駅前広場の A 街区の工事中、その後駅前広場の拡幅整備が行われます。しかし、市のズサンな開発手法と区画整理後の再開発事業が権利者の同意をより困難にしています。住民合意によらない「西口開発」の問題点を振り返ります。

B街区／「プラザ建設」で事業費3倍化、パブコメ8割が反対（2012 年）

ウェルネスプラザ建設の事業費は当初の 3 倍に膨れ上がり、パブリックコメントで 8 割反対。建設中止を求め請願、住民監査請求も繰り返され議会はしばしば紛糾しました。

C 街区／「談合」疑惑・公有地の格安売却 住民訴訟（2013 年）

公有地（県・市）売却で、談合疑惑と格安売却による損失返還を求め市長を被告に住民訴訟が行われました。

A 街区／ 権利者の同意なく、建物解体を見切り発車で（2013 年）

市は 8 年前、権利者の同意もなく整備見通しも不透明な中、A 街区の一部ビルの移転解体に着手。その後の移転は進まず補償費は膨らみ続け、やっと昨年度一棟を除き解体、整地工事となりました。

再開発ビル／タワーマンションなど予定

区画整理終了後の A 街区に、権利者組合の施行で、再開発事業（30 階建てタワーマンションなど）が計画され、そこに商業施設や市公共施設導入も検討しています。



駅前広場／ 合意と納得があってこそ、賑わいと活力のある駅前に

「この駅前が衰退都市の象徴では」「狭くて危ない」など市民から、安全・快適な駅前広場の整備が待たれています。今、取手市には、権利者への誠実な対応と市民への十分な説明、駅前整備の合意形成をはかることが求められています。



取手駅西口区画整理区域図



取手駅西口開発と街づくりを考えるシンポジウム

日時 5 月 16 日（日）
13:30 ~ 16:00

講演／遠藤 哲人さん 全国区画整理・再開発対策
全国連絡会事務局長

場所 白山公民館 2 階講座室（ホール） パネリスト／取手市役所・市議会議員、専門家、
市民など 要請中
どなたも参加できます。参加費は無料。

どうなる
どうする
取手駅西口開発を問う



許さない！
無駄な水開発のツケ
水道料金値上げストップ

「コロナ禍」の下、住民のくらし
営業を守る行政の支援が求められる
今、県南水道企業団（企業長・藤井
信吾取手市長）は、34%もの水道料
金値上げを検討していることを明らか
にしました。

ダム建設など無駄な水資源開発、
水道行政失敗のツケを住民に押し付
けることは許せません。
力を合わせ値上げス
トップ、暮らしを守る共
同を広げましょう。



東海第 2 原発

水戸地裁
運転差し止めの判決

政権奪取で再稼働止め廃炉に

茨城県など 9 都県住民が日本原電
東海第 2 原発（茨城県東海村）の運
転差し止めを求めた訴訟で、水戸地
裁は 3 月 18 日「実現可能な避難計画
や防災体制が整えられているという
にはほど遠い」と運転差し止めの判
決を言い渡しました。

半径 30 キロ圏内に住む住民は全国
最多の 94 万人、確実な避難は不可能
です。原子力規制委員会が運転延長
を認め、原電が再稼働への準備を進
める中での水戸地裁の判
決を力に、再稼働の「息
の根」を止め、廃炉へ…。

原発推進の自公政権に
かわる野党連合政権に道
を開きましょう。



3 月議会を
振り返って

施策の転換求められる
パンデミックの経験



市議会議員
関戸 勇

コロナの感染から一年
経過。パンデミックへ感
染爆発という事態のも
と、取手市の施策の大転
換を求めました。しかし
新年度予算にコロナ対策
も無く、施策見直しもあ
りません。この間の経過
から、自然災害もコロナ
禍も地域性があり被害が
異なります。市民の命と
暮らしを守る取手市独自
の取り組みを引き続き求
めます。

公共性高い駅前整備、
住民合意抜きはダメ



市議会議員
加増 充子

取手駅西口開発は、先
行き不透明な中、30 年近
く莫大な税金を投入。新
年度の交通広場の本整備
へ、合意なき工事着工を
繰り返して、合意形成への
努力を怠る市長の政治姿
勢が厳しく問われます。
デベロッパーの利益は
保証しても、地権者や市
民と取手市にハイリスク

の再開発事業は撤退・中
止すべきです。

「市長に実施責任」
…採択された請願



市議会議員
遠山ちえ子

「藤代小放課後子どもク
ラブトイレの設置」や「空
白地域解消のコミュニティ
バスの運行改善などの地
域公共交通計画策定」を
求めました。市の答弁は、
切実な要求に背を向ける
ものでした。市民の「請
願」で採択した「子ども
クラブへのトイレ設置、交
通計画策定」は未実施の
まま。実現へ全力で取り
組んでまいります。

命と健康を守る市独
自の PCR 検査実施を



市議会議員
小池えつ子

新型コロナウイルスの収束の見
通しが立たない中、新規
感染者や変異株感染も広
がり、不安が高まっていま
す。ワクチン接種と合わ
せて、何よりも重要な感
染拡大防止対策として、
社会的 PCR 検査の拡充、
無症状感染者の早期発見
と保護で、感染拡大防止
を図ることを繰り返し求
めました。市の独自策
は打ち出されませんでした。